

## 2. 安全なまちと快適な環境

### (3) 食品ロス削減に向けた取り組みについて

#### ③ 幼稚園・保育園・小・中学校で「もったいない学習」をしてはどうか

#### 【答弁】

農林水産省によりますと、日本の食品ロスは年間およそ632万トンと推計されており、国民1人が毎日、茶碗1杯分の食べものを捨てていることになると報告されております。

食品ロスの削減については、平成28年4月に政府によって策定された「第3次食育推進基本計画」の重点課題とされており、環境を意識した食育の重要性が示されたところでございます。

このような中、本市教育委員会といたしましては、議員ご提案の「もったいない学習」は、世界共通語となりつつある「モットイナイ」の精神に基づいた、食育における重要な取組の一つであると認識しているところでございます。

現在、本市では、環境を意識した食育の一環として、小・中学校の家庭科の授業を中心に「エコクッキング」に取り組んでおります。「エコクッキング」とは、環境のことを考えて、買い物、調理、後片付けをすることで、材料を無駄なく使う調理の意義や、その方法について、調理実習を通して学んでおります。

他にも、各校では給食の残菜ゼロをめざして取組をすすめており、実現している学校もございます。

さらには、幼児教育において、食材を自ら育て調理し、食すことで食に対する興味関心を高め、好き嫌い無く何でも食べられ、食べ残しを出さない子どもの育成をめざしております。

本市教育委員会といたしましては、今後も各学校園において、「もったいない学習」の目標とするところの、食品ロス削減に向けた取組をすすめるよう、指導してまいりたいと考えております。